

令和4年3月24日

4年生保護者 様

基山町教育委員会 教育長 柴田 昌範  
基山町立若基小学校 校長 本村 一浩

### 令和4年度新5年生の学級編制と指導体制の充実について

春暖の候、保護者の皆様には、日頃から本町の教育行政及び本校教育にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度、現4年生が特別支援学級在籍の児童を含めると42名となっているため、通常は1学級のところを2学級に分ける体制を取りました。本来、文部科学省や佐賀県では2学級に分ける対象となる学年ではありませんが、コロナ禍で子どもたちが教室内で密にならないようにするため、基山町独自の施策として国の新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用し、町で常勤講師1名を任用して、実施したものです。

新年度は、今年度の施策のよさを少しでも生かすことができるよう、新5年生のために町で1名の非常勤講師を任用し、以下のような体制で新5年生の指導の充実を行うこととします。この施策についても、文部科学省や県の基準や補助制度にはない、基山町独自の子育て支援充実のための施策の一つとして、実現させたものとなります。県内及び他県でも例のない、新しい支援策となります。

- ・新5年生については1学級とする。(人数は特別支援学級のお子様を含めて42名)
- ・町で新5年生のために1名の非常勤講師を任用し、密になる授業時間ができるだけないように時間割や指導体制を工夫する。
- ・国語、算数の時間など35名以内で指導できる時間は、1学級で担任が授業を行う。
- ・理科、社会など特別支援学級在籍の児童が戻り、40名以上となる授業は2学級に分ける。授業は、2つの教室を使って、1学級20名程度で今年度のように指導する。教科によってはTT(2名体制)で指導する。
- ・給食時間も教師2名体制で2教室を使って、20名程度で静かな環境で食べるようにする。
- ・2学級に分ける場合、そのメンバーは年間固定にはしないこととする。
- ・新5年生は、2つの教室を使用できるように教室配置を工夫する。

以上のように来年度の新5年生のクラス編制と及び指導体制の充実のための施策を行います。詳しくは、4月の学級懇談会等で担任から説明を行う予定です。

以上、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。